

# 「とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン」の改訂に係るパブリックコメントの実施結果について

令和4年3月7日

鳥取県立図書館

とっとり学校図書館活用教育推進ビジョンの改訂に当たり、パブリックコメントを実施したところ、県民の皆様から多くの意見をいただきました。主な意見と対応方針は、以下のとおりです。

## 1 意見募集の方法

- (1) 募集期間 令和4年1月24日（月）から2月13日（日）まで
- (2) 募集方法 郵送、ファクシミリ、電子メールまたは県立図書館、県民参画協働課、各総合事務所等設置の意見箱への投書
- (3) 広報 日本海新聞意見の募集広告及び出会いの広場に掲載、県立図書館及び県民参画協働課のホームページに掲載

## 2 応募結果

意見件数 29件（4人） （反映10件、盛込み済み7件、その他12件）

## 3 主な意見と対応方針

分類	主な意見	対応方針
反映	【学校図書館の機能・役割】 「読書好きの児童生徒を増やし、確かな学力、豊かな人間性を育む」の具体的記述が、文学を想定している印象を強く受ける。	学校図書館に期待することとして、「論理的な思考力や読解力を養うことができる。」を追記するとともに、内容を整理して記述。  P 5
	【人と情報を結ぶ】 目指す方向「人と情報を結ぶ」では、地域の人材や施設の部分をもう少し具体的に言及してほしい。	関係する施設を具体的に表記。（「施設」→「公民館、博物館、美術館等」）  P 13
	【積極的な公共図書館活用】 学校図書館がより広く、より多くの情報を児童生徒に提供するために公共図書館を積極的に活用する姿勢について明記するとよい。	ビジョンの実現に向けた取組に、⑨として「学校図書館は、児童生徒、教職員の読書や学習に役立つ情報を提供するために、機能の充実を図るとともに、県立図書館、市町村立図書館等の資料や資料相談を積極的に活用する。」を追記。  P 17
盛込み済み	【環境整備】 学校図書館内には、無線LAN、オンラインデータベース等、学習に必要な環境がまだ整備されていないが、実際の環境整備について、どのような計画か。	各学校の環境整備については、既に記載しており、具体的な整備の内容については各教育委員会と各学校で検討して、整備していくべきものと考えている。  P 16

	<p><b>【人材育成】</b>  学校司書が google chromebook やオンラインシステム (google meet、zoom) 等を操作できる能力向上について、計画に入れてほしい。</p>	<p>研修の充実については既に記載しており、対象である全ての教職員の中に司書も含まれているため、ICT化を踏まえた研修を実施する予定。</p> <p style="text-align: right;">P16</p>
	<p><b>【情報活用能力】</b>  情報活用能力の系統性について、それを各学年何の教科のどの単元を通して身に付けていくのか、というところが最も大きな課題。</p>	<p>ビジョン別表の系統表及び学校図書館活用の年間計画に例示済み。ビジョンでは方向性を提示。年間計画例は、小中学校については、作成済み。高等学校については各学校に作成を改めて働きかける。</p>
	<p><b>【評価】</b>  5年後の評価は、資料編にある項目「全体計画策定」「年間計画作成」「学校図書館活用授業時数」等の項目で考えているのか。</p>	<p>資料編にある項目で総合的に評価をしていく予定。</p>
その他	<p><b>【ICT活用】</b>  ICT活用における学校図書館の関わりが明記されている点が非常に重要。ICT活用から学校図書館が切り離されないために、自治体内や校内で学校図書館の必要性を訴える根拠になる。</p>	
	<p><b>【系統表】</b>  紙資料のみならずインターネット上の情報についても言及していることで、ICT教育との繋がりを意識できるようになっている点が良い。</p>	
	<p><b>【特色と課題】</b>  学校図書館の特色、課題がよく分かる。今後の展望が見通せるものだと思う。</p>	

#### 4 今後の予定

- 3月19日 定例教育委員会で報告
- 22日 常任委員会で報告
- 4～5月 とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン改訂版（概要）のリーフレットを作成、全教職員に配布